

# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト 2月

## 山大グリーン・ツーリズム

3月15日(日)に5名で畑の看板作りを行いました。天気がとてもよく、日曜大工にピッタリの天気でした。5人とも看板作りは初めてで試行錯誤しながら行いました。板が組み立てられてから、マスキングテープを貼り、文字と野菜のイラストを切り抜き、5人で順番にスプレーを吹きかけました。ペンキが乾くまで畑でランチにしました。ほかほか陽気の中、畑の大根葉で作ったおむすびを食べ、畑でお昼を食べる楽しさを実感しました。これから春になり、さらに気候がよくなるので、畑の野菜を使ってお弁当を作り、留学生なども一緒に畑ランチをしたいと思いました。ペンキが乾いたら、マスキングテープをはいで、細かいところを修正しました。その時、くいしんぼう畑の「ぼ」の湯点のトマトのへたを園工の得意なメンバーが、木の枝を使って書いて完成しました。この看板作りが最後の活動となりました。たくさんの人とのつながりを作ってくれたくいしんぼう畑に、看板というお返しがありました。



完成した看板

## アジアカレッジ



韓国茶道体験中

今月はアジアカレッジの活動の集大成となる「冬アジ」がありました。韓国側の学生が時間をかけて準備してくれたものです。夏の活動が終わってから参加者はSNSなどを通じて互いに連絡を取り続けていました。しかし実際に顔を合わせると喜びも格別です。久しぶりの再会をみんなで喜び合いました。韓国側が用意してくれた企画はどれも内容が充実しており、参加者はそれぞれに学びを深めることができました。朝鮮通信使歴史館や大邱葉令市記念館では日本語に対応した映像があったのでみんなおぼあちゃんたちが暮らしている施設です。何十年も韓国で暮らしているにも関わらずみなさん日本語を忘れてはいませんでした。日本の民謡を歌ったり、日本のことについてお話ししたりと、楽しい時間を過ごしました。今回経験したことはどれも、個人単位の旅行では経験することができないことばかりです。参加者全員が多くのことを学び、吸収することができたよい機会となりました。

## Code Orange

今月の活動報告です。今月は、看護4年生と医学科6年生が国家試験であったことまた各学年がばらばらの春期休暇だったためにあまり活動ができませんでした。しかし卒業生の先輩方に最後に僕たち後輩に必要な知識や志をプレゼンして頂きました。心に響くプレゼンで大変になりました。今月で2014年度のおもしろプロジェクトの活動が最後となりますが本当におもしろプロジェクトのおかげで様々な活動ができたと思います。4月からは、去年と同様に茶話会からはじまります。さらに去年までの活動が評価されツールド山口での心肺蘇生法講座や救急隊としての仕事が増えることになりました。これからも多くの人に心肺蘇生法の普及をしていきたいです。



追い出しコンパ

## おもしろプロジェクト報告会

2014年度に採択された13プロジェクトが1年間の活動を報告します。

【日時】

4月4日(土)12:00~16:00

【場所】

共通教育棟 2番教室

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています

# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト

## 第19回 おもしろプロジェクト'14報告会が開催されました



4月4日(土)に第19回おもしろプロジェクト'14報告会が開催されました。報告会では採択された13団体が、1年間の活動を発表しました。プロジェクトメンバーは来場者に、活動で苦労したことや、学んだことなど、熱心に説明していました。

開催時は晴天！  
屋外でポスター  
発表を行いました。

たくさんの方が、  
団体メンバーに  
質問したり、  
立ち止まって  
ポスターを読ん  
でくれました。



後半は  
各団体のプレゼン  
テーションでした。

1年間の活動を  
写真や動画で  
説明しました。

### おもプロ学長賞の投票ありがとうございました！

3月30日～4月10日までの期間、2014年度に採択された団体の活動をポスターで紹介し、「いいね」と思う団体に投票をしてもらいました。

今回は学生自主活動ルームの掲示板だけでなく、図書館、第一学生食堂や、学外の山口県立山口図書館にも投票箱を設置し、いろいろな人に投票をお願いしました。

報告会で実施した投票も合計し、5月に上位3団体が「おもしろプロジェクト学長賞」として学長より表彰されます。



これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています

# 第20回 山口大学おもしろプロジェクト

## おもしろプロジェクト採択団体決定!

<p><b>山口学生宇宙開発研究プロジェクト (スベ研)</b></p> <p>昨年、缶サット計画からスタートした団体です。昨年はメンバー全員一年でスタートしましたが、知識や技術に限界があり、高度な開発ができませんでした。そこで今年度はメンバーも増員し、組織としての基盤もできたので活動方針とプロジェクト名を変更しより高度な開発と地方創生を目指した活動にしたいと思っています。そのため私たちは、缶サットという限定された競技から、幅広い活動を行えるように、山口学生宇宙開発研究プロジェクト (スベ研) に名前を変更しました。私たちは「山口と宇宙をつなげる」という理念のもと活動を進めていきたいと思っています。山口と宇宙をつなげるというのは2つの意味があり、一つ目は私たち山口大学学生の宇宙への興味を実現させていく活動として実際にロケットや缶サットを開発し大会に出場する技術的な活動であり、二つ目は科学教室や地域の企業との連携を通して宇宙と山と地域をつなぐ架け橋になることです。</p>	<p><b>科学の楽しみを運ぶ～学生隊～</b></p> <p>本プロジェクトは、子どもたちに科学の楽しさを知ってもらうことを目的としており、小中学生を対象に科学実験や工作教室を行う。この活動を通して子どもたちが科学について考えるきっかけを作り、自ら考えさせることによって科学に対する興味や、知識の向上、ものづくり力の向上が期待される。また、構成員 (参加大学生) は社会人基礎力、工学的知識、問題解決能力が身につくことが見込まれる。</p>
<p><b>Code Orange</b></p> <p>私運Code Orangeは、心肺蘇生法の普及を目的とするサークルで、学生・一般市民の方たちに心肺蘇生法講習会を開いている。今年で私たちの活動は7年目を迎える。過去6年間で私たちが講習を行った受講者の数は1800人を超える。今期は「growth」をテーマに掲げ、①メンバー教育の充実②地域に根ざした活動をめざすことを重点におく。①に関しては、今期より加入した新たなメンバーも含めメンバー全員でもう一度心肺蘇生法の重要性について考える。②に関しては、昨年までの行事に加え、2013年に開かれたBLS・First Aid ワークショップの再開、新たな市民イベントにボランティアとして参加、県内の小中高校などに出向いて講習会を計画している。</p>	<p><b>プラネタリウムを作る (仮)</b></p> <p>プラネタリウムをピンホール式で製作し、誰でもどこでもプラネタリウムで星が見られるようにすることを目的としたプロジェクトである。今後誰でもプラネタリウムを利用できるようにするために、理解しやすい説明書を作成し、全天88星座が忠実に投影できる機械を製作する。さらに、どこでも利用可能なプラネタリウムにするために、持ち運び可能となるように製作し、投影するための環境を簡単に整えられる方法を模索する。プラネタリウムが完成し、七夕祭などの様々なイベントで使うことができれば、大学関係者以外でもプラネタリウムを見ることが可能になると予想される。そこから、人々が宇宙に関心を持つようになり、地球や世界とのコミュニケーション、情報通信社会の未来を考えるきっかけとなることが期待できる。</p>
<p><b>慶南青年カレッジ2015</b></p> <p>山口大学・山口県立大学生と韓国の釜山・慶南地域の大学生が夏は日本、冬は韓国で様々な活動を通じて相互交流を行う。両国の文化や価値観の違いを認識し、理解を深めていくことを目的とし、プロジェクト構成員が自主的に計画した日程を基に行動していく。最終的に、相互理解のために必要なことは両国間の違いを埋め合うことではなく、違いを認め合ったうえでお互いを理解することであると認識してもらうことが可能である。</p>	<p><b>プロジェクトY</b></p> <p>ホタル保護は昨年度の3年間計画で進行しているプロジェクトの2年目です。このプロジェクトの目的は2つあります。「山口大学を含む平川地域を、ホタルの飛び交う環境にする」、「無理なく環境保全活動が行える仕組みを整える」です。最終的にこれらの目的を果たすために立てた目標は3つです。まず1つめが「ホタル、ピオトープについて、正しい知識を身に付ける、地域との情報交換を行う」、次に「身に付けた知識を生かした方法でホタルを飼育、ピオトープを管理する」、そして最終的に「ホタルの飛翔数を増加させる、得たノウハウを地域貢献活動に活かす。」です。昨年度は第1番目の目標を達成しました。今年度は、昨年度制作した「ホタル飼育マニュアル」「ピオトープ管理マニュアル」をもとに計測方法、飼育方法に工夫を加えます。また、年度費がりを得た、博識を持つ方々にメール等で質問をしながら解決し、ホタル保護活動を行います。</p>
<p><b>わくわくやまだいい学級プロジェクト</b></p> <p>今年の4月の春休み実施の山口大学内学童保育の経験や気づきに基づき、山口大学ならではの専門性や環境を生かした教材開発 (各学部研究室、部活、サークルなどと連携) を行い、既存の学童保育では経験できない学童保育プログラムを作ることができないかと考えた。山口大学にある研究室や部活・サークルと協力して、様々なプログラムを作成し、それをプログラム集としてまとめ、周知してもらうことが目的であり、最終的には実際に活用されるよう活動を広げていきたい。サービス受給者の大学内で学童保育および他では得られない経験、大学オリジナルの学童保育のプログラムの周知による大学自体のイメージアップ、山口大学の魅力の発信・学童保育のブランド化などが効果として考えられる。また学生自身による計画実施に伴う考える力の育成や、学外との連携による社会力の向上が見込まれる。</p>	<p><b>egg:</b></p> <p>現在、山口大学工学部は女子学生が少なく、学科をこえた交流もありません。そのため、様々な問題があります。例えば、女子学生同士の分野を超えた情報共有ができていないこと、女性特有の悩みや相談の場が少ないことなどです。そこで私たちは、女子学生のための交流会や講演会の開催、相談しやすい雰囲気作り、メディアを通じた情報の発信を提案します。その結果、女子学生にとって過ごしやすい環境を作ることができると考えます。</p>
<p><b>電脳飛行</b></p> <p>平成26年9月に開催予定の、第10回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト・自動制御部門への出場、および上位入賞を目標とする。また、コンテストに出場するための小型無人飛行機的设计・製作および飛行練習を通して、機械工学 (特に航空工学およびメカトロニクス工学) への理解を深めるとともに、各段の授業等では体験できないものづくりの難しさや楽しさを学び発信していく。コンテストは、インターネット中継がされるなど全国に情報発信されるため、山口大学の知名度向上やアピールにつながると期待できる。</p>	<p><b>ソーラーカープロジェクト2015</b></p> <p>ソーラーカーの製作を通じて工学的分野の知識、技術、課題への克服能力、協調性など座学では学べない能力を育成。競技会へ参加することでモチベーションを高く保ち、より良い成績を収めることを目的としており、競技会を通して自分たちの能力の成長を確認するとともに、ライバルチームとの交流を通じてさらなるレベルアップを目指している。また、地域行事に積極的に参加することで地元の方に環境問題について考えてもらい、工学や科学の魅力を発信していく。</p>

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



## 第20回 山口大学おもしろプロジェクト 6月



## ソーラーカープロジェクト2015

今月は走行データを取得しマシンの更なる性能向上や走行方法の検討をするため試走会に参加しました。試走会は本番と同じ鈴鹿サーキットで行われ、午前1時間半、午後2時間の走行時間が与えられていました。午前の部では大まかな走行方法の方向性を探り、午後は午前の結果を元に細かく走行方法に変化をつけてデータを取って居ましたが、午後の走行の途中で異音が発生しその後マシンが走行不能となってしまいました。そのため試走会の午後の部は1時間走ったところで終了となってしまいました。それでも走行のデータは十分に取れ、そしてさらにマシンの改善すべきところも洗い出すことができました。走行不能の原因は大学に帰ったあと調査したところバッテリーと分かりました。当プロジェクトでも試走会への参加は初の試みであること、準備する期間が非常に短かったことでソーラーカーの輸送や、宿の手配など苦労することも多々ありましたが、それに見合う成果は得られたと思います。



試走の様子

## 科学の楽しみを運ぶ～学生隊～



偏光板の試作

私たちの団体は8月7日(金)に「夏休み工作教室」というイベントを予定しています。これは、小学生と一緒にものづくりを行い科学の面白さを体験してもらう企画です。毎年行っている企画であり、今年は「液体の性質を知る」と「光の不思議」の二つのテーマで行うことを決定しました。現在の主な活動として、夏休み工作教室に向けての準備を行っています。5月、6月の活動の内容については、まず5月上旬に望遠鏡、顕微鏡、万華鏡の三つのうちどれか一つを工作教室の題材にすることを決めました。次に、3つの試作を行っていき、6月上旬で望遠鏡にすることに決定しました。そして6月中旬まで望遠鏡の試作を行っていました。しかし、試作が思うようにうまくいかず、6月16日にメンバーと話し合い、テーマを変更することを決めました。計画が初めからの状態でスタートになりますが、6月の失敗の経験も踏まえて必ず夏休み工作教室が成功するよう来月も頑張っていきたいと思います。

## わくわくやまだい学級プロジェクト

5月に大学会館で行われたキックオフミーティングでは、教職員20名、学生29名で「山口大学のいいところ」をKJ法で意見を出し合いました。教職員、学生が和やかな雰囲気の中で意見を出し合い、私たち学生だけでは思いつかないような保護者目線の意見をいただくことができました。その後プロジェクトチームで行ったフィードバックでは、いただいた意見からたくさんの保育プログラム案を提案することができました。今回のキックオフミーティングが、このプロジェクトで行う初めての活動ではありましたが、このプロジェクトの大きな第一歩を踏み出すことができたと思います。6月の全体ミーティングではキックオフミーティングでまとめた意見を企画書におこし、現在は協力していただけそうな団体(学部やサークル)にアポを取っています。プロジェクトが目に見える成果を出す時期になってきたので、メンバーの士気も高まり、とても良い雰囲気の中で活動ができています。

## 慶南青年カレッジ2015

ペットボトルの  
国別調査

5月17日に長門市の湯谷大浦海岸で行われた日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃にコア(スタッフ)全員で参加してきました。思った以上に海岸に流れ着いているゴミが多いことに驚きました。今回の清掃には約1000人のボランティアが参加し、1時間で3.4トンほどのゴミを拾い集めました。私たちは8月に開催する環境フォーラムにむけて、清掃と同時進行でゴミのサンプル採集を行いました。また、海岸に漂着したペットボトルの国別調査も行いました。調査結果を見てみると、私たちが採集したペットボトルのうち、韓国のものが47.9%、日本のものが43.2%を占め、日本のペットボトルより韓国のペットボトルの方が多く海岸に漂着していることが分かりました。この結果から、日本と韓国それぞれの視点から環境問題を見つめ直すことが大切だと感じました。ゴミの減少に向けて、日韓の学生がどのような取り組みをすべきか考えてもらうための企画の実施についてコア会議で話し合い、現在も計画を進めているところで

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



## 第20回 山口大学おもしろプロジェクト 7月



## Code Orange

6/30(火)山口大学小串キャンパスにおける医学部自治会部活の所属者に対する部活動講習会と、7/11(土)山口大学吉田キャンパスにおける七夕祭でのBLSクイズコーナー&講習会を行いました。

部活動講習会ではインストとして構成員16名、各部活から代表として受講者61人が参加しました。「BLS」「熱中症」の2つについて講義、その後班分けを行い、胸骨圧迫・人工呼吸・AEDを中心に講習会を行いました。七夕祭では、共通教育1番教室でBLSクイズコーナー&講習会を出店し、インスト9人、受講者20人が参加しました。

部活動講習会に参加した2年生は、練習会を通じてインストラクターとしての知識と経験を身に付けていきました。本番では、人に物事を教えることの難しさを実感したようです。また七夕祭では、普段の講習会でインストに慣れている構成員でも、小さなお子さんへの対応はとて難しかったようです。どうしてうまくいかなかったのか、何が難しかったのかを、全体で共有し、次に繋げていきたいと思っています。

胸骨圧迫を教え  
ているところ

## プラネタリウム製作プロジェクト

常盤工業会からも助成金を頂けるかもしれないということで、その申請書類を提出し面談を受けました。その面談において私たちがいかに漠然としたことしか考えておらず、計画や目的も具体的に決まっていなかったかを思い知らされました。そこで、面談を受け指摘されたことについてそれぞれが考えたことを持ち寄って話し合い、追加資料の作成を行いました。痛いところを突かれ、追加資料の作成も大変でしたが、そういった機会を得ることができ、少し成長できた面でもチームのメンバーにとってもよかったと思います。締め切りに追われて作成した追加資料であり、まだまだ深く掘り下げられていない内容も多く、さらなる指摘も受けたので、もっとチームで議論し、明確な計画やプロジェクト内容を組み立てたいと思います。

今月は資料作成や定期試験に追われプラネタリウム作成に取りかかることができなかったので、夏季休暇に入り次第、投影機の作成に取り組んでいきたいと考えています。

## 電脳飛行

今月の活動は一般部門出場用の機体製作が主でした。主翼の製作は昨年の大会出場機体と同様の方法で行いました。しかし、完成した翼は、十分な強度が得られていないことが手で持った感覚で直ぐにわかりました。原因は、昨年の機体よりもアスペクト比(縦横比)が大きい割に、昨年と同様の補強方法であったことです。今年の大会ルールには、去年になかった宙返りが追加されています。宙返りは翼の強度が十分に必要です。今後2号機を製作する際には、この失敗から学び、強度面に注意して設計・製作する必要があります。また、大会で必要となる投下機構の考案とプロトタイプ製作も行いました。昨年の大会ではお手玉投下のルールがあったのですが、今年は投下する物がチキンラーメンであり、形状が大きくなっています。そのため、プロトタイプもかなり大きな寸法になりました。今後は製作したプロトタイプを元に形状、重量共にブラッシュアップしていきたいと思っています。来月中には機体1号機を完成させ、テスト飛行を行いたいと思っています。



1号機主翼

## 科学の楽しみを運ぶ～学生隊～

8月7日(金)の工作教室という学生隊主催のイベントに向けて、企画を進行しています。先月に引き続き、偏光板と電子ペンを試作中です。偏光板については完成し、量産体制に入っています。一方、電子ペンについてはどのようなペン先にすれば絵が描き易くなるのか、子どもたちに怪我させないような工夫はどんなものか等、まだまだ話し合っていくところは多そうです。

宇部市中の小学校の5、6年生を対象に夏休み工作教室のチラシを配布し、参加希望の証としてハガキによる募集をかけました。全部で59人ほどの募集があり、この中から24人に絞りました。抽選は、男女比率や学年が良いバランスになるよう注意をしながら公平に行いました。今月は材料の準備もしました。全部を子どもたちに作らせると時間的にも難易度的にも問題があるため、できる限りはこちらで準備しておきます。

いよいよ来月は本番です。子どもたちに喜んでもらえるようなイベントにしたいと思っています。



偏光板の作品

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



## 第20回 山口大学おもしろプロジェクト 8月



## わくわくやまだい学級プロジェクト

今月は、先月までに決めていた内容(学童保育のプログラム)を実践する月となりました。実際に学童保育の行われている教育学部棟の教室に行き、子どもたちを前にして、自分たちで考えた企画を実施することができました。前回までに自分たちがやりたいことを決め、各関係者及び団体に交渉しに行き、話を詰めたはずでしたが、うまくいかないことが多くありました。(大学施設の使い方、実施しようとしていた企画の頓挫など)また、実施しても、体験してもらう子供たちが飽きてしまうこともあったので、それは、こちらが用意した企画の内容が薄かったのだと反省しました。もちろん喜んでもらえる企画もたくさんあったので、それはとてもうれしく思いました。

自分たちが頭の中でしたいと考えたことを、実際に企画にすることで、それは当事者(子供たち)が楽しめるものかどうかははっきりとわかったので、子ども目線でどんなことをすると楽しめるのかということがわかりました。



8/31ペットボトルロケット作成風景

## 電脳飛行



オープンキャンパスの様子

8月上旬は、一般部門用の機体を製作しました。主翼と尾翼をつなぐ胴体や、舵の取り付け、電装などを行い機体を完成させることが出来ました。一号機の製作で一番苦労した点は全遊動式の尾翼です。この形式の尾翼は今まで作った経験が無く、試行錯誤での製作となりました。完成した全遊動式尾翼は想定よりも接続部分の遊びが大きくなってしまふなどの失敗がありましたが、実際に飛行させてみると十分に機能を発揮してくれました。製作した機体は8月10日のオープンキャンパスに展示させていただきました。オープンキャンパスでは製作機体と共に活動内容を記したポスターも展示させていただきました。足を運んでくださった高校生や親御さんには、活動内容に興味津々の方もおられ、飛行機に関する質問などもありました。来場者相手におもしろプロジェクトや電脳飛行の活動内容を説明することができ、良いアピールの場となりました。来月は本プロジェクトの最大の目的である飛行機ロボットコンテストに参加します。悔いが残らないように準備していきたいと思ひます。

## 慶南青年カレッジ2015

5日は広島へ行き、活動場所である宮島や市街を下見しました。夏休みということもあり人が多く、日差しも強かったです。9日は日本人参加者を集め、活動に関する説明をした後、全員で夕食を食べて親交を深めました。10日から18日は企画スタッフで毎日会議を行い、日韓交流活動に向けて最終調整をしていきました。なかなか思い通りにいかないことも多くありましたが、朝から夜まで企画スタッフで話しあい、協力を進めました。19日からの9日間はよいよ韓国人参加者と対面し、日韓参加者全員で活動をスタートしました。最初は日本人と韓国人の会話があまり見られず交流が少ないように感じましたが、活動を通して徐々にスキンシップも増え、最終日には別れを惜しんで涙を流す参加者も少なくありませんでした。九日間の日韓交流により、言語や文化の違いを超え、互いに理解し、深い絆をうむことができたのではないかと感じました。私自身、そういう機会に携われたことでたくさんの経験をし、学ぶことができました。



慶南青年カレッジ2015

## 科学の楽しみを運ぶ～学生隊～



工作教室の様子

今月8月7日(金)に「夏休み工作教室」が行われました。時間は午前の部と午後の部に分かれており、午前は9人、午後は10人の計19人の小学生が参加しました。電子ペンについての話し合いが予定より長引いてしまったので、準備がぎりぎりになってしまい、リハーサルできる時間が一日しかなく不安なまま本番に臨むことになってしまいました。誰一人けがなく無事に終えることができました。工作教室終了時に子どもと保護者それぞれにアンケートを行い集計しました。アンケートをしてみると9割以上の方がまた工作教室に参加したいと回答していました。今回の工作教室では練習時間が短く本番中に戸惑ってしまったスタッフもいたり、電子ペンの製作時間が予定の時間より長くなってしまい一部の作業行程をカットしたりしました。本番前のリハーサルの時間をしっかり取り、練習していればこういうことを防ぐことができたのではないかと感じました。次の活動では今回の反省点をいかしてよりよいものをしていきたいと思ひます。

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



## 第20回 山口大学おもしろプロジェクト 9月



## 電腦飛行

9月上旬は、自動操縦部門の機体を製作しました。今回は、大会の本命となる二号機の製作です。一号機では飛行中に主翼の強度が足らず、羽ばたく(主翼が折れ曲がる)といった現象が起きてしまったため、二号機では補強を行うことで強度を上げました。また、主翼を大きくすることで翼面荷重を減らし、制御しやすいように速度を低下させました。他にも、一号機の状態では会場に持ち運ぶことが困難なため、二号機では大会の会場まで運ぶために主翼と本体を分けることができるように分解機構を製作しました。中旬には一般部門における二号機を製作し、自動操縦部門と同様に大会まで運べるように分解機構と強度について考え、製作しました。『電腦飛行』には、操縦に慣れていない人が少なく、操縦スキルの高い人材が必要になってくると思います。今月の下旬には大会が控えており、それに向けて、『電腦飛行』のメンバー全員が頑張っています。また、今年は山口大学創立200周年という節目であり、大会では、このことをしっかりアピールしていきます。



大会出場機

## ソーラーカープロジェクト2015

レース本番を終えて今月は大会の反省を話し合いました。今年は最高周回で新記録を作りましたが、一時決勝出場ができなくなるかと思われるほど追い込まれました。原因はウインカーの不具合によるもので、これは確認作業の甘さによるものであると思われる。サーキットに向かう前に確認を行いました。その後輸送ダメージなどを考えず車検まで放置していました。もうひとつ問題点としては作業者が少なすぎて一人ひとりの負担が重過ぎることが上げられました。今後の活動でこの反省を十分に生かしたいと思います。また、サークルの今後についても話し合いを重ねました。結論は出ていませんがなんとかいい方向に向かいたいと思います。さらに今月は風雨によって活動拠点のガレージが破損したため修復作業を行いました。特に被害がひどかった屋根は新たにトタンを購入し、穴が開いた部分に張りなおしました。また扉は錠が完全に壊れていて鍵がかからないようになっていたので錠を付け直し修復しました。



修復した屋根

## プラネタリウム製作プロジェクト

メンバーが所属している天文サークルMilky Way☆の合宿や「瀬戸内アストロリーグ夏の地区集会」への参加、また帰省などが重なったため、前半に2回しか集まることができませんでしたが、その中で投影機のおおよその形を決めることができました。最初は正確さを求めて、星図データを基に図面を作成しリスフィルムを用いる方法を模索していましたが、全員がプラネタリウム製作自体初体験であり、星図データの座標計算やリスフィルムの入手・加工などが初心者たちには高度すぎると判断し、球面上に星図データを基に穴を開けた内径300mmの透明半球を2つ組み合わせ、後に内面を黒のスプレーで塗装して作る方法を採用した比較的簡単で正確さを少し妥協したものに変更することにしました。これを1号機としてその製作過程で得られる経験を基に2号機以降では性能を上げたものを作りたいと考えています。地区集会では他大学天文部のプラネタリウム製作の様子などを尋ねることができ、さらなる課題が浮き彫りになったので議論を重ねて解決を図っていきます。



メンバーで星を模って…

## Code Orange

Code Orange最大のイベントである医学祭がいよいよ近づいてきました。今月はプロジェクトリーダーを中心に会議を開いて、医学祭の大まかな方針を決め、準備物や練習会の日程などを話し合いました。より多くの人に講習を受講してもらえる仕組みや、受講者の来場から受講、退場までの流れがいかにスムーズに行えるかについて活発な議論が交わされました。去年までの反省点を活かして、受講者が満足できるより良い講習会を目指します。また、9/14に新加入メンバーの歓迎会を開きました。歓迎会には顧問の小田先生にも参加していただき、市民によるBLSの重要性や普及活動の必要性を語っていただきました。Code Orangeは人数の多い団体で、その多くが部活動との兼部です。上級生は実習で忙しく、なかなか活動に参加できないメンバーが多いので、こういった歓迎会の存在は新メンバーとの親睦を深めるための貴重な機会となっています。今後も親しさの中にも厳しく一致団結して活動していくことを改めて決意した歓迎会でした。



歓迎会での集合写真

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



## 第20回 山口大学おもしろプロジェクト 10月



## プラネタリウム製作プロジェクト

今月からプラネタリウムの投影機製作に入りました。先月も報告した通り、球面上に星図データを基に穴を開けた内径300mmの透明半球を2つ組み合わせ、後に内面を黒のスプレーで塗装して作る方法を採用し、その方法に従って製作を進めています。まだ透明半球表面上に星座の点をプロットしている最中であり、計画よりも進行が遅れているため、プラネタリウム完成に向けてペースを上げていかなければならないと考えています。先月・今月と続けて2名の方から活動に興味を持って頂きましたが、どちらも吉田キャンパスに通われている方で工学部キャンパスまで来て頂くのは難しく、残念ながらプロジェクト参加には至りませんでした。今後は主に工学部内での新規メンバー募集を進めていこうと思います。

11月7日に広島大学で行われる大学祭を訪ね、天文学研究会のプラネタリウム解説の様子を見学させて頂くことを予定しています。そこで得られることを今後の製作に生かしていきたいです。



星座点を  
球面上にプロット  
する様子

## 山口学生宇宙開発研究プロジェクト（スぺ研）

10月からは、種子島ロケットコンテストとに向けた活動を行ってきました。種子島ロケットコンテストは、打ち上げの正確性を競うフライバック部門、ロケットの到達高度を競う高度部門、ロケットの耐久性と正確性を競うフライバックタイムアタック部門、独創的なアイデアでペイロードの滞空時間を競うペイロード有翼滞空部門、小型ローバーの帰還正確性を競うCansat部門があります。それぞれ3,4名のグループになってもらい大会で優勝するための機体の製作に取り掛かりました。

大会では、製作した機体をプレゼンテーションするのでその練習も含め、毎回の活動成果を他のグループに説明する練習も行っています。また、より高度な技術を導入するために現在数名が電脳飛行さんにプログラミングや制御の方法を週1回教わりながら製作の幅を広げています。さらにCanSatは電脳飛行さんとの共同製作を計画しており同じ工学系の活動とし色々助けをもらいながら活動を進めています。

## 科学の楽しみを運ぶ～学生隊～

10月17日（土）に上宇部WAKUWAKUフェスタがありました。このイベントは上宇部小学校で行われるイベントで、僕たち学生隊は科学実験のブースを出展しました。このブースでダイラタンシー、紫キャベツを用いた寄せ書き、本の摩擦を利用した綱引き、偏光板の4つの実験を行いました。

私の担当はダイラタンシーでした。ダイラタンシーとは片栗粉と水を混ぜた液体状のものですが、力を加えると個体になる不思議なものです。このダイラタンシーの上で足踏みをするだけで液体の上に浮いているかのような体験ができます。今回のイベントでこの現象を子どもたちに体験してもらいました。すると評判がよく、とても楽しそうに体験してくれました。ダイラタンシーは試作の中で一番苦労したのでとてもうれしかったです。無事に上宇部WAKUWAKUフェスタが終えることができました。

次のイベントは今のところは未定ですが、また新しく計画して頑張っていきたいと思っています。



WAKUWAKU  
フェスタの様子

## 慶南青年カレッジ2015

10月11日に韓国・釜山において、韓国側学生参加者と日韓合同反省会を行いました。夏の活動で感じたことを率直に話し合い、今後の活動に活かしていくために、良かった点や改善点についても日韓の学生同士で意見を交換しました。今回の夏の活動では特に、両学生ともに文化の違いについては戸惑いがあったようです。特に戦争・平和についての認識にも異なっている部分があり、より歩み寄りができるようなディベートを行うことができる環境を整えるために準備を緻密にやることが課題として挙げられました。この課題を踏まえたうえで、11月に行われる平和フォーラム（仮）の企画を進めていきたいと考えています。夏の活動における平和学習の次のステップとして、充実したディベートができるようにしたいです。今回の日韓合同反省会で、韓国側の学生から得られた意見や情報を次期コア（スタッフ）にしっかりと受け継ぐことができるように、今回の夏の活動で評価された点、改善点を帰国後にまとめました。次期コアにも頑張ってもらいたいです。



日韓合同反省会

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています

# 第20回 山口大学おもしろプロジェクト 11月

## Code Orange

今月はCode Orange最大のイベント、医学祭での心肺蘇生法講座を開催いたしました。11/7,8の2日間で去年を上回る約160人の方が参加してくださり、大変な盛り上がりとなりました。医学祭に向けた練習会では連日多くのメンバーが集まり、本番を想定した実戦練習を行ってきました。その甲斐もあって、医学祭当日は子供連れからお年寄り、若いカップルなど多種多様な参加者に対して、ニーズに合った講習を行う事ができました。今年は特に『乳児のBLS』や『気道異物による窒息の解除』のコースを希望される方が例年より多く、少し慌ただしくしてしまう時間帯がありました。大きな問題や混乱はありませんでしたが、ブースの配置やメンバー教育など、来年以降改善していく余地があると感じました。今年新しく加入したメンバーの中には、今回初めてインストラクターを務めたメンバーもいましたが、しっかり練習の成果を発揮してくれており、インストラクター・参加者の双方が、楽しく笑顔で講習を行っていたことが何より印象的でした。



胸骨圧迫の実技練習を行っているところ

## プラネタリウム製作プロジェクト



広島大学の天文学研究会

今月は外部との接触が多く、今後のためになる様々なことを吸収することができました。7日には広島大学の大学祭を訪れ、天文学研究会さんのプラネタリウム上映を見学させて頂きました。私たちが製作中の土台部分やドームについてはまだ必要な物品の発注ができていないため、製作の傍ら参考資料を基に代替品になりそうなものをホームセンターで探しました。今月後半は試験期間で集まることができなかつたので、来月早々に物品請求願をまとめ、提出する予定です。さらに今月は自主活動交流会に参加したことで他のおもプロ採択団体と交流し、他団体の活動内容を知ることができました。電脳飛行さんとスベ研さんが共同で行われている勉強会についても情報を得られ、自動で投影機操作を行える設備作りのためにも今後参加させて頂ければと考えています。来月には東京で行われる「天文冬の陣」に一部メンバーが参加するので、他大学天文部の方との交流を図れたらと思います。

## 電脳飛行

今月も先月と同様に、山口学生宇宙開発研究プロジェクトの方々と勉強会という形で、交流を行いました。内容としては、各センサーや精度の向上のためのプログラムを学び教えました。今後の方針としては、自分たち電脳飛行から何人かが山口学生宇宙開発研究プロジェクトの方に参加して、いろんなことを学ぼうと考えています。また、11月14日に催された常盤祭に参加しました。講義室をお借りし、ラジコン飛行機の展示とプロジェクトの活動紹介を行いました。天候はあいにくの雨だったのですが、飛行機の展示を見るために、わざわざブースまで足を運んでくださる方もおられました。学生だけでなく一般の方とも交流ができ有意義な時間を過ごすことが出来ました。さらに11月17日には交流会に参加しました。おもしろプロジェクトやその他の団体と交流を行い、それぞれのプロジェクトの活動内容や活動動機などのお話を聞くことができました。他のプロジェクトの様々なお話を聞くことができ、刺激のある時間となりました。



常盤祭の様子

## 自主活動交流会を開催しました



11月17日(火)、共通教育棟11番教室で「自主活動交流会」を開催しました。おもしろプロジェクト採択団体や、自主活動経験者など25名が、学生の自主活動についてのワークショップに参加しました。



これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



## 第20回 山口大学おもしろプロジェクト 12月



## 電腦飛行

先月の飛行試験中、練習用機体が破損してしまいました。そこで、今月は破損した練習用機体の修復を行い、操縦練習を行いました。今までは基本的に、体育館の中を自由に飛行させて操縦練習をしていました。しかし、自由に飛行させるだけでは上達に限界があります。今年の飛行ロボコンの反省点のひとつに「大会を想定した具体的な操縦練習の不足」があります。そこで、ただ自由に飛ばすのではなく、目的を絞って飛行練習をすることにしました。特に今月は「着陸」に重きをおいて練習を行いました。実際に体育館に滑走路を設けました。初めのうちは滑走路上に着陸したとしても機体の一部が滑走路外に接地することが多々ありました。しかし、目的を絞った甲斐がありました。練習を重ねるにつれ滑走路内着陸の成功率が高くなっていきました。来月以降も目的を絞った飛行練習を行い、来年の飛行ロボコンに向けて操縦の腕を磨いていきます。また、来年度以降の活動が滞りなく行えるよう、今年度のデータ整理も併せて行いたいと考えています。



飛行練習の様子

## プラネタリウム製作プロジェクト

今月でプラネタリウム投影機の透明半球部にペンで星座の点を打つ作業を終了しました。また参考に行っている資料を基に話し合った上で、今後必要な物品の請求願を提出しました。さらに、27・28日には東京で開催された様々な大学の天文系サークルの交流会「天文冬の陣」に岸田が参加し、そこで他大学で作製されているプラネタリウムについて情報収集してきました。同じような方法で作っている大学もあり、その製作方法や上映方法などを尋ねることができて大変になりました。プラネタリウムを自作している大学が集まって上映会をしたいねという話になり、連絡先を交換したりもできたので、今後このつながりを有意に使い続けたいと思います。冬期休暇中は帰省する人も多く、都合が合わなかったため活動が行えなかったのですが、1月にはお願いした部品などが揃うと思われるので、スピードを上げて製作を進めていく予定です。来月からは効率を上げるため、メンバーは5人しかいませんが、投影機班とドーム班に分かれて同時進行で製作をする方向に変更しました。

## egg:

本年も残りわずかとなりました。

egg: では、2月に開催予定の講演会とメイクセミナーの実施に向けて、いよいよ細かい段階での打ち合わせとなっています。

講演会は、工学部女子をメインターゲットに、ライフイベントを踏まえた工学系女子のキャリアについて、女性の方にお話していただく予定です。メイクセミナーも、就職活動を意識したメイクや身だしなみについて、学べるものしようと、プロのメイクさんと細かい打ち合わせを行っています。

また、これら2つのイベントの後に刊行予定の学内誌の発行に向けて、予算の検討なども行いました。

現在も随時メンバーを募集しています。「おもしろそうだから」で参加していただいてもかまいません。私たちの活動に興味を持っていただいた方、ぜひ、新年ということで新しいことに挑戦してみませんか？



活動の風景



反省会の様子

## Code Orange

12月16日の定例会で医学祭の反省を行いました。受講者アンケートとメンバーアンケートをもとに話し合いました。今年の医学祭では、昨年の120人を上回る158の方が講習会に訪れました。そのうち、成人BLSの受講を希望された方は全体の80%、小児乳児BLS・気道異物による窒息の初期対応の受講を希望された方は20%でした。例年はほとんどの方が成人BLSを希望されますが、今年は小児乳児BLSを希望される方が非常に多かったのが特徴でした。反省では、上級生だけでなく、下級生も小児乳児BLS・気道異物による窒息の初期対応を市民の方にも教えられるよう、今後はメンバー教育をより充実させようということになりました。アンケートでは、96%の方がインストラクターの説明はわかりやすかったと回答し、「BLSが必要な時に今後BLSを実施しようと思うか」という問いに対して、95%の方が「実施する」と回答しました。多くの人にBLSの重要性を伝えることはできたので、今後も受講者のニーズに合った講習会を追求していきたいです。

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



# 第20回 山口大学おもしろプロジェクト 1月



## 慶南青年カレッジ2015

今月の慶南青年カレッジ2015は、冬の活動について韓国側スタッフと打ち合わせを行ったり、会議を行ったり、日本人学生参加者に対する説明会を行ったりしました。韓国側のスタッフとはインターネットを利用してテレビ電話でお互いの意見交換、日程の調整等を行いました。よりよい活動になるように夏の活動であった反省点・課題を踏まえて、活動の内容の見直しや変更を行うことが出来ました。参加者の学生が夏の活動時よりも、満足のできる活動を提供できたと思います。16日に行なった冬の活動の説明会では真剣にスタッフの話聞く学生や、初めての海外に緊張している学生、昨年の活動について熱心に質問をする学生など冬の活動に対する意欲が高まっている印象を受けました。夏の活動から期間が空いていましたが、親睦会等を行っていたこともあり、会うたびに参加者同士の絆が強くなっていると感じました。久しぶりに韓国学生と再会することになるので、冬の活動では更に日韓学生の交流を深められたらいいなと思いました。



説明会の様子

## Code Orange

総会での  
集合写真

今月は第1回の総会が開かれました。総会では、今年のテーマ・新しい幹部の役割などについての発表がありました。Code Orangeでは毎年1月に幹部交代を行い、新しい幹部体制でのスタートを切ります。現在3年生のメンバーが主体となって2016年の活動を行っていきます。第8代の代表に久松、副代表に久保が就任し、今年のテーマ『START LINE』が発表されました。2015年11月にBLSのガイドラインが改変され、それに合わせてCode Orangeが独自で作るテキストを改訂する作業を現在進行中です。2016年が新しいCode OrangeのSTART LINEとして、素晴らしい1年となるようにメンバー全員で頑張っていきたいと思います。そして今月の下旬から院内BLSが始まりました。病院で働く方々を対象としたBLS講座を、1日30名程度の参加者に対して行っています。ガイドラインが変わり、指導の仕方も変わる中で、メンバーそれぞれが試行錯誤をしながらインストラクターを務めています。

## プラネタリウム製作プロジェクト

今月は冬休み明けに1度だけしか活動を行えませんでした。ミーティングでは春夏秋冬&南天の星座を5人で手分けして等星の区別を行うことを決め、今後の日程や追加で必要となる物品について話し合いました。前回の物品請求願提出が遅かったのもあり架台の組み立てに必要な部品がまだ揃っておらず、製作は思うように進められませんでした。先を見越して、もっと早い段階で必要な物品を精査し、請求願の提出を行う必要があったことを痛感しました。この経験は今後には生かそうと思います。一方、予算にまだ余裕があるとのことで、前回の物品請求を踏まえて足りないものを追加で請求させて頂きました。春休み以降の時間を有効に使って製作を進めていこうと思います。来月には第2回自主活動交流会が開催される予定であり、1名参加する予定なので、他のおもしろプロジェクト団体等と交流して様々なものをまた吸収してこれたらと思います。さらに最終報告書作成や報告会に向けて準備を開始、少しずつ進めていく予定です。

## 電腦飛行

小型飛行機の  
データ

12月16日の定例会で医学祭の反省を行いました。受講者アンケートとメンバーアンケートをもとに話し合いました。今年の医学祭では、昨年の120人を上回る158の方が講習会に訪れました。そのうち、成人BLSの受講を希望された方は全体の80%、小児乳児BLS・気道異物による窒息の初期対応の受講を希望された方は20%でした。例年はほとんどの方が成人BLSを希望されますが、今年は小児乳児BLSを希望される方が非常に多かったのが特徴でした。反省では、上級生だけでなく、下級生も小児乳児BLS・気道異物による窒息の初期対応を市民の方にも教えられるよう、今後はメンバー教育をより充実させようということになりました。アンケートでは、96%の方がインストラクターの説明はわかりやすかったと回答し、「BLSが必要な時に今後BLSを実施しようと思うか」という問いに対して、95%の方が「実施する」と回答しました。多くの人にBLSの重要性を伝えることはできたので、今後も受講者のニーズに合った講習会を追求していきたいです。

**これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**



## 第20回 山口大学おもしろプロジェクト 2月



## プラネタリウム製作プロジェクト

2月8日に開催された、第2回自主活動交流会に一名が参加しました。まだ試験期間中だったため、行きたくても行けない人ばかりでとても残念でしたが、他のおもしろ団体等と再度交流を図ることができました。今月はテスト終了後に少ししか活動できませんでした。しかし限られた時間の中で、投影機の透明半球に書き込んだ星座の点を等星ごとに大きさを変えて穴を電動ドリルで開ける作業は終わられました。小さな穴を開けるのはとても難しいと聞いていたのですが、思いのほか手早く進めることができ、ドリルビットも1本も折ることなく終わられました。主な星座線をたどるための5等星までしか開けていないのですが、この様子だと時間さえあればもう少し詳細に穴あけができるかもしれないことが分かりました。以降は足りない物品を常盤工業会から頂いた助成金を活用しながら揃えたり、手分けして製作を進めて、七夕祭に出展できるように考えています。そして年度末を迎えるにあたって、報告書提出に向けて書類の準備を進めていきます。



透明半球の色分け・穴あけ作業

## 電腦飛行



山口学生宇宙開発研究プロジェクトとの交流

今月は、山口学生宇宙開発研究プロジェクトが参加する種子島ロケットコンテストに向けて、自動制御のプログラムを製作するなどという形で交流を行いました。内容としては、今まで教えたセンサーやプログラムを用いて、実際の大会で使えるようなプログラムの設計、センサーを統制するための基盤の製作を行いました。他にも、大会に向けてのミーティングなどに参加して交流を行いました。今後としては3月3日から開催される種子島ロケットコンテストに山口学生宇宙開発研究プロジェクトのサポートとして参加などを行う予定です。今月の21日には、電腦飛行として企業のコーディネータにおけるミーティングへの参加を行い、いくつかの企業のプレゼンやディスカッションを聞き、ビジネスについていろいろ学ばせていただきました。また、実際に他大学の教授や企業の方々とは直接お話しできる機会があり、ミーティングでの質問や意見交換はもちろん、自分たちの研究や就職についてのアドバイスを通じて交流を行いました。

## Code Orange

2月7日に開催されたFMきららカップ第33回宇部駅伝競走大会にて、教護ボランティアとして参加しました。毎年宇部市体育協会から依頼を受け、自転車救急隊として参加しています。AEDと救急セットを背負い自転車でコースを周回しながら、選手のけがや万が一に備えます。また、本部の救護所で救急班として待機し、選手のサポート等を行いました。大きなけがをする選手もおらず、無事大会を終えることができました。また、本部に併設されたテント内で、市民に向けて救命講習を行いました。駅伝に参加した選手やその保護者の方が講習会に参加してくれました。多くの小学生や中学生が興味を持ってくれました。私たちの活動が地域の方に求められているということを実感できました。今後も地域に根ざした活動を活発に行っていきたいと思います。その他、今月は山口大学附属病院で行われた、医師・看護師を除く総勢318人の職員を対象としたBLS講習会に、講師としてコードオレンジのメンバーが参加しました。病院内で患者さんが倒れたときの対応をレクチャーしました。



宇部駅伝競走大会

## egg.



講演会

egg.では今月就活セミナーとしてメイクセミナーと講演会を実施しました。メイクセミナーは講義形式のメイクレクチャーと、個別に質問できるメイクレッスンの2つを行いました。どちらも好評でレクチャー、レッスンともにたくさんの方に参加していただくことができました。講演会ではライフイベントを踏まえた工学系女子のキャリアについて3人の女性講師の方にお話しいただきました。また、講演会後には講師の方との交流会を行いました。今回実施した就活セミナーはegg.が実施する初めてのイベントで、反省点も多くありました。今回の反省を生かしてこれからの活動をより良いものにとしようと定例会で話し合い、今後の活動に対してのやる気があがりました。※メンバーは随時募集しています。少しでもegg.の活動に興味を持っていただいた方はぜひ一度見学に来てください。くわしくは学科や福利厚生棟の掲示板に掲載してあるポスターをご覧ください。

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています